

～幻想的な舞と音色が溶け合う幽玄の世界～

市制施行70周年記念 第36回 相模原薪能を開催します

相模原市の夏の風物詩、「相模原薪能」を8月25日(日)に開催します。

日本古来の伝統芸能である能楽を郷土「相模原」に定着させ、本市の文化の向上を図ることを目的として、毎年実施している催しです。

今回の公演では、能「船弁慶(ふなべんけい)」などを上演します。

- 1 日 時 令和6年8月25日(日)
開場:午後1時 開演:午後1時30分(午後4時頃終演予定)
- 2 会 場 相模女子大学グリーンホール・大ホール(相模原市南区相模大野4-4-1)
- 3 演 能 宝生流(ほうしょうりゅう)
- 4 演 目 仕舞「八島(やしま)」
仕舞「吉野静(よしのしずか)」
狂言「惣八(そうはち)」
能「船弁慶 後之出留之伝(ふなべんけい のちのでとめのでん)」
- 5 座席 全席指定(入場にはチケットが必要です。)
S席 500円 S席券発売:7月20日(土)10:00～
※ホール前方の演目が見やすい座席となっております。
A席 無料 A席券取扱開始:7月27日(土)10:00～
[チケットのお求め・お問合せ]
・チケット Move 電話予約(042-742-9999)
・チケットムーヴ.net(<http://move-ticket.pia.jp/>)
※1枚につき手数料330円がかかります。
・チケット Move 窓口(S席A席ともに、取扱い初日は、窓口での直接販売はありません。)
- 6 主 催 公益財団法人相模原市民文化財団、学校法人相模女子大学、相模原市

※当日取材を希望される場合は、別紙「撮影・録音・録画 申請書」に必要事項をご記入いただき、開催3日前までに、相模原市民文化財団にFAXで送付してください。

(FAX番号:042-749-2772)

問合せ先
文化振興課
直通042-769-8202

<申請書式 B>

※主催者(能楽協会正会員及び正会員で構成される団体以外)、
撮影(録音)希望者、撮影(録音)した写真・音源・映像の利用者用

撮影・録音・録画 申請書

名刺添付欄

又は「申請者連絡先」欄に記入

- 本書式使用に関する遵守事項
- ・必ず公演前日迄に必要な事項を記入の上、関係者の署名を得ること。当日の出演者への署名依頼は禁止。
 - ・本書式に関する責任の所在は申請者にあるものとする。申請者が撮影(録音)者と異なる場合も、撮影(録音)者の責任は申請者にあるものとする。
 - ・書式の加工や改変等を行わないこととする。
 - ・記録・保存以外の目的で撮影(録音)する場合は、利用者の非営利(使用にあたって対価が発生しないもの)・営利を問わず、別途、覚書・契約書の締結を前提とする。
 - ・成果物の複製、転用、転載禁止。使用の際は必ず明記すること。
 - ・使用に際し、スペースのある限り、演目・流儀・演者名の順で、クレジット表記をすること。

①申請者 記入欄

*該当する口に✓

申請者名			
申請者連絡先	※名刺添付 又は以下に記入		
	会社名		部署・肩書
	連絡先 電話・E-mail		
該当公演情報 【注】チラシ又は当日プログラムを必ず添付。	年 月 日	公演名	
収録方法	<input type="checkbox"/> 写真撮影 <input type="checkbox"/> 映像撮影 <input type="checkbox"/> 録音のみ		
使用目的 該当する目的全てに✓ 【注】本書式は、一次利用(右記に記入の目的)のみ使用可能。 ※右記以外の目的での使用(二次利用)が生じた場合は権利処理が必要。	<input type="checkbox"/> 公演主催者()の記録・保存及び、広報利用。 <input type="checkbox"/> 特定の能楽師(氏名:)の演能活動記録。 ※複数名いる場合は、全員の氏名を記入。 <input type="checkbox"/> 能楽データの保存・蓄積の為。 <input type="checkbox"/> 放送、雑誌掲載、展覧会掲示等 ※具体的に。 *別途契約締結を前提とする。 <input type="checkbox"/> その他 ※具体的に。		
撮影(録音)物の保管責任者			
インターネット配信 ※動画配信サイト、SNSへの掲載を含む。 (YouTube、Facebook、Twitter、Instagram等) 【注】「有」の場合は必ず遵守事項を守る。	【遵守事項】 ●開示に際して ・閲覧者による転用、転載禁止を明記すること。 ・映像を使用する際は、30秒以内を目安とした部分利用に限り、転用、転載禁止を明示すること。 ・スペースのある限り、演目・流儀・演者名の順で、クレジット表記をすること。 ●本書式で定めるネット配信の範囲は、非営利目的利用(閲覧にあたって課金の生じないもの)に限り、営利目的利用の場合は別途権利処理(場合によっては契約書の締結)を必要とする。 <input type="checkbox"/> 有 掲載サイト名又はURL <input type="checkbox"/> 無		
主催者の許諾 【注】必ず主催者の許諾を得ること。	<input type="checkbox"/> 上記事項は主催者: の許諾済みである。 <input type="checkbox"/> 申請者が主催者である。		
出演者への周知方法 【注】必ず出演者へ周知すること。	<input type="checkbox"/> 事前周知(出演依頼状に記載、書面通知、口頭内諾等) <input type="checkbox"/> 当日周知(楽屋掲示等) ※原則、書面での事前周知を基本とし、当日周知(楽屋掲示等)も必ず行うこととする。		
撮影者記入欄	【撮影(録音)に関する遵守事項】 ・フラッシュの使用、公演中の客席内での移動、指定された場所以外での撮影は禁止とする。 ・主催者、会場、出演者の指示に従い、上演・観賞の妨げとならないよう留意すること。 ・本書式で申請された目的以外で写真を使用する際は、必ず権利処理を行うこと。 ・ガイドライン(別紙)を遵守のこと。 年 月 日 撮影者署名: _____		

②担当出演者(能楽協会正会員) 記入欄

上記申請を許諾します。 年 月 日 署名: _____

■本書式のお取り扱い

本書式(チラシ又は当日プログラムの添付を含む)は申請者が保管し、能楽協会がコピーをお預かり致します。

※能楽協会への提出は、協会指定の書式回収窓口(指定能楽堂)、又は直接能楽協会宛に送付。

入場無料 (入場にはチケットが必要です)
一部有料席あり

市制施行70周年記念

第三十六回

相模原新能

たきぎのう

相模原、夏の風物詩。

演能 宝生流

仕舞 八や島しま

仕舞 吉野よしの静しずか

狂言 惣そう八はち

能 船ふな弁べん慶けい

後之出留之伝のちのいでとめのでん

※演能前に出演者による能楽解説があります。



2024.

8/25 (日) 13:30開演 13:00開場/16:10終演予定

相模女子大学グリーンホール・大ホール

小田急線相模大野駅
北口徒歩約8分

発売開始

S席(全席指定) 500円
7/20(土) 10:00

取扱開始

A席(全席指定) 無料
7/27(土) 10:00

チケットのお求め
お問合せ

チケットMove
☎ 042-742-9999
(10:00~19:00)

チケットムーヴ.net
<http://move-ticket.pia.jp/>



※取扱初日は、S席 A席ともにチケット Move 窓口での取扱いはありません
(電話予約及びチケットムーヴ.netのみ取扱い)。
※S席 A席ともに、チケットムーヴ.net で予約された場合は1枚につき手数料 330円がかかります。
※小さなお子様もお一人様1枚のチケットが必要です (0歳から入場可)。
※車椅子席 (無料・付添人1名まで) があります。ご希望の方はお電話でご予約ください。
※S席は1階前方から中ほどのお席です。 ※予定枚数に達し次第、販売及び取扱終了となります。

●会場のご案内



令和六年八月二十五日(日)
午後一時三十分開演

挨拶

能楽解説 辰巳 満次郎

〔仕舞〕

八 島 藪 克徳

吉野 静 辰巳 和磨

〔狂言〕

惣 八 山本 則重

〔能〕

子方 宗形 龍之介
シテ 宝生 和英

船 弁慶 ワキ 舘田 善博
後之出留之伝 ワキツレ 則久 英志
ワキツレ 渡部 葵

問 山本 泰太郎

後見 東川 尚史
田崎 甫

大鼓 亀井 洋佑 大鼓 大川 典良
小鼓 曾和 伊喜夫 笛 藤田 貴寛

山本 則孝 山本 則秀
後見 若松 隆

内藤 飛能 小倉 健太郎

高橋 憲正 金野 泰大

あらすじ

狂言「惣 八」

ある有徳人（裕福な人）が、出家と料理人を雇おうと思
い募集をします。そこでやって来た出家は、実は最近まで
料理人をしていたので、浮世をむなしく思い出家になっ
たばかりでした。また同じくやって来た惣八は、もとは出
家でしたが、朝夕の勤めや檀家との付き合いが面倒になり
料理人になったばかりでした。
無事採用されそれぞれ仕事を言いつけられた二人ですが、
どちらも新米の身、なにやら勝手が違う様子。そこで二人
は良いことを思いつきますが……。

能「船弁慶」

兄・源頼朝と不和になり、追討軍を差し向けられる悲
運に陥った義経は、都落ちを決意して、弁慶以下十余人で
人目を忍んで、摂津の国大物の浦に着きます。弁慶はかね
て談合してあつた船頭に舟を頼みますが、一行の中の静御前
を都に帰すように計らい、静は泣く泣く同行をあきらめま
す。門出に近づき弁慶は白拍子※の名手である静に舞を乞
います。

やがて義経一行の舟は静を残して出て行きます。沖合い
はるかに進んだ頃、黒雲が出たかと思うと、忽ち一転暗く
波は大きく荒立ちます。すると西海に滅びた平家の一類と
思しき人影が波間に浮かび、中にもおどろの髪を振り乱し
甲冑を帯した平知盛の幽霊が、潮を蹴立てて近寄ります。
義経は少しも騒がず応戦し、弁慶も調伏すれば、さしもの
悪霊も恐れて遠ざかるところを、舟子どもはいいやえいや
と漕ぎ急ぎ、危うく虎口を脱するのでした。

※ 平安時代末期から鎌倉時代にかけて流行した歌舞の一種。

小書 後之出留之伝

「小書」とは能の特殊演出のことをいいます。宝生流に
よる小書「後之出留之伝」は、文字通り後シテの出と、
終わりの型が変わり、舞の途中で義経を
見て泣く型があります。



会場 相模女子大学グリーンホール (相模原市文化会館)

(小田急線「相模大野駅」北口より徒歩約8分)
〒252-0303 相模原市南区相模大野4-4-1
<https://hall-net.or.jp/01greenhall/>



お客様へのお願い

相模女子大学グリーンホールでは、2020年
10月より隣接地にて建築工事が行われてい
ます。騒音等による影響がある可能性がござ
いますので、予めご了承くださいませよう、お
願いいたします。



お問合せ

公益財団法人 相模原市民文化財団
☎ 042-749-2207



ホームページでも情報を配信しています。

相模原市民文化財団

検索

@Sagami_BUNKA